

教育後援会

会報

特別号 No. 1

令和6年3月

月岡校下教育後援会

月岡中学校生徒の皆さんの

文章力に感動・脱帽

月岡校下教育後援会

会長 谷内 正博

昨年の秋(十月二八日)、月岡中学校の学習発表会で、温かい話を三つ聞きました。とても素晴らしく、感動した内容なので、皆さんにご紹介します。

みんなの笑顔は私の笑顔

2年 中土 陽菜乃

私は笑うことが好きです。大好きです。そして、みんなが笑っているその笑顔も大好きです。

私は中学生になってある一人の交通安全パトロールのおじいさんに出会いました。そのおじいさんは、どんな悪天候の日でも毎朝街頭に立ち、いつも遅刻しそうでせかせかしている私を優しく見守ってくれます。そんな心優しいおじいさんです。

おじいさんは「おはようございます。」「行つてらっしゃいませ。」の一言をいつも私に投げかけてくれます。それも最高の笑顔で。その温かい一言と最高の笑顔は私はずっと心待ちにしています。どんなに気持ちが晴れなくてもなぜかその数秒で笑顔になって、曇り空も段々晴れていくような、そんな気持ちになれる気がします。最初は、自分でもどうしてこんな気持ちになれるかわかりませんでした。おじいさんの名前も年齢も、もちろん住所もわかりません。ただ最近その理由が少しわかった気がします。それは、おじいさんの笑顔は作り笑顔なんかではなく、はじけるような、心の底からの笑顔だということです。同じ笑顔でも、心の持ち方で相手に全く違って伝わります。それは表情にも表れるものだと思います。誰に対しても心の底からの笑顔を与えてくれるおじいさんは本当にすごい方だと思います。



私は将来、そんなおじいさんのような笑顔を持った明るい看護師になるのが夢です。もちろんそれなりの技術や経験がないと仕事は務まりません。だけど、患者さんに寄り添うためには技術や経験以外に、笑顔で優しく接してあげることが同じくらい大切だと考えます。そうすることで、患者さんの苦痛が少しでも和らぐと思うからです。

私は、そんな優しく笑顔の素敵な看護師になるため、努力していることが四つあります。

一つ目は、誰とでも仲良く、たくさんの人とコミュニケーションをとることです。初めて同じクラスになった友達や、地域の方々、先生方など、たくさんの人と会話することで互いにわかり合い、楽しく過ごせると思っています。

二つ目は、励ましや応援の声を周囲に投げかけることです。そうすることによってみんなの心が和み、気持ちよく過ごせるし、協力し合えるようになると思います。

三つ目は、困っている人の話を聞いてあげることです。その中で相手に共感し、改善点を一緒に見付けだし、悩みを解決することができると思っています。

四つ目は当たり前前のことを当たり前に行うことです。時間を守らなかつたり忘れ物をしたりなどしていれば、人からの信用を失い、看護師の仕事

事など務まるわけはありません。

「笑顔」は周りの人へと伝わり、みんなを笑顔にしてくれます。幸せな空間を生み出してくれます。そして明るい社会へと導いてくれます。私はそう思います。この社会に一人でも多くの輝く笑顔を生み出せるようにするため、私は自分自身を磨き上げていきます。今は小さいことかもしれないませんが、その積み重ねが将来の夢、みんなの笑顔、そして私の笑顔につながる。そう信じています。



※「きく」について

「きく」には「聞く」「聴く」「訊く」の三つがあります。この違いは何でしょうか？

「聞く」は英語で「hear」。聞こえてくる音を理解しようとする姿勢で、どちらかと言えば受動的な姿勢です。「聴く」は英語で「listen」。相手のことを理解しようとして、耳を傾ける。能動的な姿勢です。

「訊く」は英語で「ask」。自分の知りたいことを質問することで、「聴く」とは反対の姿勢です。

同じ「きく」でも、これだけ姿勢が違います。果たして自分はどうなのか？を考えてみませんか。